



中津市文化財 保存活用地域計画

令和6年12月

令和7年3月改訂

中津市教育委員会



序 文

大分県の県北に位置する中津市は、平成17年の市町村合併により1市3町1村が合併してできた、県下3番目の人口を持つ中核都市です。山間部は「耶馬溪」の名で知られる奇岩の景勝地で、市内を貫流し周防灘に注ぐ山国川流域には平野が広がっており、その河口部には城下町が開けています。穏やかな気候のもと、豊かな自然と産物に恵まれ、市内全域に数多くの有形無形の文化財が存在し、古来より、地域を愛し文化を愛する人々により大切に守られてきました。しかし、昨今の少子高齢化の進行の波に押され、過疎化が進み、文化財を取り巻く状況は厳しさを増しており、文化財保護には、これまで以上に行政と地域の方々との連携が必要となっています。

こうした状況の中、本市では、地域の文化財＝「なかつの宝」を保存・活用し、未来へ継承するため、「中津市文化財保存活用地域計画」を作成しました。本計画は、文化財保護法に基づく本市の文化財の保存・活用の総合的な法定計画です。中津市が目指すべき文化財保護のマスタープランであり、具体的な事業を進めるためのアクションプランです。今後、本計画に基づき、市民の皆さま、関係機関・各種団体等と連携し、「なかつの宝」の保存・活用を積極的に進めてまいります。

計画作成にあたり、ご尽力を賜りました中津市文化財保存活用地域計画協議会委員をはじめ、文化庁、大分県教育委員会の皆さま方、そしてご協力いただいた市民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

令和6年12月20日

中津市教育委員会

教育長 古 口 宣 久

例 言

- 1 本計画は、大分県中津市の文化財の保存・活用に関する総合的な法定計画である。
- 2 本計画の作成期間は令和3年～令和6年12月である。事業は文化庁の補助金を受けて実施した。令和6年12月20日に文化庁長官の認定を受け、令和7年3月25日に本書を刊行した。
- 3 本計画の作成は、令和4、5、6年度文化庁地域文化財総合活用推進事業補助金（文化財保存活用地域計画作成事業）を活用した。
- 4 計画作成にあたり、中津市役所内の関係各課でワーキンググループを作り、庁内調整会議、中津市文化財保存活用地域計画協議会（事務局：中津市歴史博物館）を設置し、計画案の検討を行った。作成過程においては、文化庁地域文化創生本部から指導・助言を受け、大分県教育庁文化課、中津市文化財調査委員会から助言を受けた。
- 5 本計画の執筆・編集は中津市歴史博物館が行った。

* 計画作成にあたり、各種機関、伝統芸能保存団体、文化財愛護・ガイド等団体の皆さま（第10章掲載）にご協力をいただいた。（順不同）

* 第1章1の（2）地形・地質及び（7）災害は、中津市文化財調査委員の立石義孝氏にご指導いただいた。

* 未指定文化財調査は、以下の方々にご協力いただいた。（敬称略・順不同）

中尾忠廣、久本智恵子、秦忠広、秦香寿美、久篠信行、深水富美江、木野礼子、松永喬、松永皓史、北茱優花、梶原豊美、長野淳雄、桑野清美

* 掲載写真の一部は、中津市文化財保存活用地域計画協議会委員の佐藤誠治氏をはじめ、以下の方々にご提供いただいた。（敬称略・順不同）

佐藤誠治（表紙写真、写真1、2、4、5、12、34、42、59、61、67、74）、
熊谷幸一（写真7）、山守功（写真9）、川口武彦（写真23）、坂本恒夫（写真66）、筑紫亭（I15）、
横山民幸（写真77）、尾上直樹（写真78）、松永皓史（写真79）、中津耶馬溪観光協会（写真48）

上記の他、現地の皆さま、文化財所有者の皆さま、各関係者の皆さま等、多くの方々にご協力いただき、本計画を作成することができた。心より感謝申し上げます。

1	
2	3
4	5
6	

【表紙の写真】

1. 東浜から中津干潟・城下町方面を望む
2. 薦神社の三角池
3. 大畑城跡から八面山を望む
4. 古羅漢から集落を望む
5. 猿飛千壺狭
6. 伊福の景

目 次

序 章

1. 計画作成の背景と目的	1
2. 計画期間	2
3. 本計画の位置づけ	3
4. 本計画における歴史文化資源の定義	7

第1章 中津市の概要

1. 自然的・地理的環境	8
2. 社会的状況	20
3. 歴史的背景	26

第2章 中津市の歴史文化資源の概要

1. 指定等文化財の概要	31
2. 未指定文化財の把握	37

第3章 中津市の歴史文化の特徴

1. 山間部：奇岩奇勝の地形に根差した歴史文化	44
2. 沖積平野と洪積台地：肥沃な大地に生きる歴史文化	45
3. 沿岸部：進取の気質が生んだ歴史文化	46

第4章 市民意識の調査とこれまでの取組み

1. 市民意識の調査	47
2. 文化財保護に関するこれまでの取組み	48

第5章 目指すべき将来像

.....	52
-------	----

第6章 歴史文化資源の保存・活用に関する課題・方針

1. 保存・活用に関する課題	54
2. 保存・活用に関する方針	68

目 次

第7章 歴史文化資源の保存・活用に関する措置

方向性1「なかつの宝」を知り、みんなで価値を共有するための方針	75
方向性2「なかつの宝」を守り、未来へつなぐ仕組みをつくるための方針	79
方向性3「なかつの宝」を磨き、地域の魅力を発信するための方針	84

第8章 関連文化財群

1. 関連文化財群の設定	88
2. 関連文化財群の内容と、課題・方針・措置	89

第9章 歴史文化資源保存活用重点エリア

1. 重点エリアの設定	135
2. 重点エリアの概要と保存・活用に関する課題・方針・措置	136

第10章 歴史文化資源の保存・活用の体制と進行管理

1. 計画の推進体制	153
2. 計画の進行管理	159

巻末資料

1. 地域計画作成の経過	162
2. 市民意見	166
3. 指定等文化財一覧	168

中津市文化財保存活用地域計画

令和7年3月 発行

編集・発行：中津市教育委員会
〒871-0057 大分県中津市1290番地（三ノ丁）
中津市歴史博物館
TEL：0979-23-8615
